

「医療情報学」投稿規程

(2024 年 7 月改定)

1. 投稿原稿の種類

本誌は主として、原著－研究論文、原著－技術論文、原著－研究速報、春季学術大会論文、総説、Letters to the editor、資料、解説、Forum、研究室紹介等の原稿を受け付ける。ただし、投稿原稿は、他誌に発表（掲載）、あるいは投稿されていないものとする。

原著－研究論文：医療情報学の新しい発見や斬新なシステム開発など学術的な新規性を主題とするもの。

原著－技術論文：医療情報学の発展に寄与する新しい技術の応用や創意工夫のあるもの。

原著－研究速報：内容からみて急いで発表してオリジナリティを確保する必要があると考えられるもの。

春季学術大会論文：春季学術大会プログラム委員会の推薦および字句等の明らかな誤りに対する修正を経て、大会詳細抄録が投稿されるもの。

総説：1 つのテーマについて広範囲に文献調査を行い、そのテーマに関する現状および将来展望を明らかにしたもの。

Letters to the editor：掲載論文に関する誌上質問や誌上討論。

資料：調査データやシステム構築の基礎となるデータなど、会員にとって参考になるとと思われるもの。

解説：技術の解説や医療情報システムなどの紹介、教育的内容のもの。

Forum：医療情報学関連の学術集会の紹介や海外事情など、会員にとって参考になるとと思われるもの、本学会の活動方針に関する提言など。

研究室紹介：編集委員会からの依頼原稿。

2. 投稿資格

投稿の著者は、日本医療情報学会の会員でなければならない。共著の場合は、筆頭著者が会員でなければならない。ただし、賛助会員の紹介ないし依頼原稿の場合はこの限りでない。

なお、ここでの会員とは、正会員、指名正会員、学生会員とする。また、初回投稿時のみならず、再投稿時、原稿掲載時も、会員でなければならない。

3. 原稿の長さ

3-1. **原著－研究論文**、**原著－技術論文**、**春季学術大会論文**、**解説**は刷り上がり 8 ページ程度（図・表・写真を含む）、**原著－研究速報**は 4 ページ程度、**総説**は刷り上がり 10 ページ程度、**Letters to the editor**、**Forum**、**研究室紹介**は刷り上がり 2 ページ程度（図・表・写真を含む）、**資料**は刷り上がり 6 ページ程度（図・表・写真を含む）と

する。

3-2. 和文は横書きとする。1,760 文字が刷り上がり 1 ページに相当する。

3-3. 英文はA4 判ダブルスペース 2 枚が刷り上がり 1 ページに相当する。

3-4. 本論文とは別に付表などを必要とする場合には、別刷に限り長さを指定せずに受け付けることがある。

3-5. 上記以外の原稿については編集委員会が適宜定める。

4. 採否審査（受理日の表現方法）

原稿は複数の査読者による審査のうえ、掲載の採否を速やかに決定する。掲載にあたっては、原稿の一部修正を求めることがある。修正を求められた原稿は、原則として 1 ヶ月以内に再投稿しなければならない。掲載は投稿受付順を原則とするが、審査もしくは編集上の都合により変更することがある。**春季学術大会論文**は、編集上の点検以外は行わず、原則としてそのまま掲載する。

5. 原稿の書式

5-1. 用語：和文、英文いずれでも受け付ける。

5-2. 用紙サイズと文字数：和文の場合は、ワードプロセッサで A4 判の用紙を基準とし、1 行 40 文字（全角）、35 行として作成すること。英文は A4 判ダブルスペースとする。

5-3. 和文原稿の形式：原稿の第 1 枚目に、投稿種別、表題、著者名、所属機関と所在地、別刷送付先、英文の表題、英文著者名、英文所属機関と所

在地、および校正刷りの送付先、担当者名、e-mail アドレス、電話番号、Fax 番号を記すこと。

5-4. 英文原稿の形式：原稿の第 1 枚目に英文の投稿種別、表題、英文著者名、英文所属機関と所在地、および基本的には日本語で校正刷りの送付先、担当者名、e-mail アドレス、電話番号、Fax 番号を記すこと。

5-5. 抄録 (Abstract)：和文原稿の場合は、原稿の第 2 枚目に和文 400 文字、英文 200 words 程度で記すこと。英文原稿の場合は、原稿の第 2 枚目に英文 200 words 程度で記すこと。なお、5 個以内のキーワード (Key words) を記すこと。キーワードは MEDLINE データベースのキーワード用語集「Mesh (Medical Subject Headings)」を参考にすることが望ましい。

* **Forum, 研究室紹介**は抄録不要。

5-6. 本文：原稿の第 3 枚目からとする。本文は原則として、緒論、目的、方法、結果、考察、結論、文献の順に記す。必要に応じ謝辞を記す。また、システム開発等では、緒論、開発目的、システム概要、システム評価、考察、結論、文献の順に書く。

5-7. 名称：人名はできる限り原語を用いる。

5-8. 略号：初出部分で正式名を添える。ただし、一般化されている場合はこの限りでない。

5-9. 図・表・写真：鮮明なものとする。1 枚ずつ別紙とする。図（図の下）、表（表の上）、写真（写真の下）に必ず和文原稿は和文、英文原稿は英語で

Fig., Table, Photo で表題をつける. 必要な場合には説明をつける. 図・表・写真は, 本文原稿とは別に一括して電子ファイルとする.

5-10. 和文原稿の場合, カタカナ・ピリオド・カンマなどは全角文字, 英字・数字は半角文字を使用する.

5-11. 新語, 専門用語などは, 脚注をつける. 脚注は一連番号を参照箇所の右肩に“1”のように記載する. 各著者の所属施設名を記入する場合もこの要領で一連番号に含める. 説明文は原稿のそのページの下に脚注として記載する.

5-12. 文章中の数式は, 原則としてイタリックで印刷される. イタリック以外を希望する場合, ゴシック, ボールドなどと朱書する.

5-13. 他の文献から文章・図・表などを引用する場合は, あらかじめ著作権者の了承を得る. また, その際には出典(著者名・書誌名・発行所・頁・発行年)を引用箇所に明示する.

6. 引用文献

6-1. 引用文献は, 本文該当部の右肩に引用順に番号を片括弧で記し, 本文最後の文献の項に整理して記す.

6-2. 文献の項の書式は, バンクーバー・スタイル (the Vancouver style) に従うものとし, 以下の例を参考にして記載する.

[雑誌] 著者名. 題名. 雑誌名発行年; 巻: 通巻ページ (始め-終わり). または, 著者名. 題名. 雑誌名発行年; 巻: 号数, 号ページ (始め-終わり).

例 1) 多仲浩志. 医学・生物学における数学論理. 医療情報学 2008; 28: 253-266.

例 2) 多仲浩志. 医学・生物学における数学論理. 医療情報学 2008; 28, 5: 13-26.

例 3) Tanaka K, Hara K. Estimation of location and size of myocardial injury site from body surface potential distribution using ECG inverse solution. Jpn Heart J 1986; 27: 235-244.

[書籍・単行本] 著者名. 題名(編者名). 書名. 発行地(外国の場合のみ): 発行所, 発行年: ページ(始め-終わり).

例 1) 貝原益軒, 井上 馨, 郷邑要市. サブルーチン問題. 応用数学講座. 岩波書店, 1993.

例 2) 桂 太郎. 医療情報の標準化. 新版医療情報「医療情報システム編」, 篠原出版新社, 2009: 224-240.

6-3. 著者について

姓(family name)と名(given name)の間にコンマを入れない. 名(given name)に省略記号(.)をつけない. 著者名が6名以下なら全員を記す. 7名以上の場合は最初の3名のみを列記し, それに「他」, “et al.”を付記する. 著者と著者の間にはコンマを入れる. and, und, et., & などを用いない. 日本人著者名は, 姓だけでなく, 名も書く.

6-4. 雑誌について

略式雑誌名のあとに省略記号(.)をつけない. 雑誌名はイタリック文字を

用いる。投稿原稿では雑誌名にアンダーラインを引く。巻数はゴシック文字を用いる。英文原稿に和文献を引用するときには、最後に (in Japanese) を添える。

6-5. 単行本の場合

書名はイタリック文字を用いる。投稿原稿では書名にアンダーラインを引く。

6-6. 電子媒体の場合

[CD-ROM, DVD 等] 著者名・題名・収載名 [媒体]・発行地 (外国の場合のみ) : 発行所, 発行年 : ページがあれば (始め-終わり)。

例 1) 木村通男. 医療情報の過去・現在・未来—
Data, Information, Intelligence 第 2 回現在編. 第 31 回医療情報学連合大会論文集 [CD-ROM]. 日本医療情報学会, 2011 : 4-7.

例 2) 省戸利普. 技術の変遷. 医学の情報集 [DVD].
医療と情報の窓社, 2005.

例 3) Anderson SC, Poulsen KB. Anderson's electronic atlas of hematology [CD-ROM]. Philadelphia: Lippincott Williams & Wilkins, 2002.

[ウェブサイトやオンライン上の文献] 著者名・題名・発行地 (外国の場合のみ) : 発行所, 発行年 [URL (引用した年一月一日)].

例 1) Hooper JF. Psychiatry & the Law: Forensic Psychiatric Resource Page. Tuscaloosa: University of Alabama, 1999.

[<http://bama.ua.edu/~jhooper/> (cited 2007-Feb-23)].

例 2) Foley KM, Gelband H, editors. Improving palliative care for cancer. Washington: National Academy Press, 2001.

[<http://www.nap.edu/books/0309074029/html/> (cited 2002-Jul-9)].

例 3) 標準的電子カルテ推進委員会. 最終報告. 厚生労働省医政局研究開発振興課, 2005.

[<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2005/05/dl/s0517-4b.pdf> (cited 2011-Nov-11)].

7. 著者校正

原則として, 初校時 1 回のみとする。

8. 掲載料

掲載料は無料とする。ただし, 超過ページについては 1 ページにつき 10,000 円, カラー印刷代については 1 ページにつき 100,000 円を徴収する。その他特別に要した経費は実費を徴収する。

9. 著作権および版権

本誌に掲載された原稿の著作権および版権は日本医療情報学会に帰属するものとする。「医療情報学」に掲載された原稿その他の記事の全部, または一部をそのまま他の出版物等に掲載する場合には, 定められた様式に基づく文書により編集委員長の許可を得るとともに, 当該の出版物等に「医療情報学」からの転載であることを明

記する。なお、原稿等が「医療情報学」に掲載されることが決定した際、著者は編集委員長が送付する著作権譲渡書に書名・捺印して、速やかに編集委員会宛に返送する。原稿執筆者には論文の内容を無断で改変されない権利（著作人格権）が残される。

10. 倫理

10-1. 倫理違反として以下の行為を禁止する。

1. （二重投稿の禁止）当該査読を伴う投稿論文と同等の内容を他誌に投稿してはならない。ただし、国際会議・大会・研究会などの予稿はこの限りでない。

2. （捏造・改ざん・盗用の禁止）事実に基づかないデータを故意に作り出したり、データなどを根拠なく書き換えたり、他人から得たデータや知見を許可なく自身の得たものとして記載したりしてはならない。

3. （倫理規程違反）自らの所属する機関などで定める倫理規程を犯してはならない。

10-2. 倫理違反とみなされた場合は、下記の罰則の一部、または、全部を適用する。

1. 当該論文の不採録、または、掲載取り消しとその通知。

2. 著者全員の本会学術雑誌への投稿禁止。

3. 二重投稿先、および、著者の所属先への通知。

11. 個人情報の保護

個人情報の保護の観点から、たとえ学術論文であっても容易に個人が特定されないように、症例等の記載については十分に配慮しなければならない。

なお、プライバシーに関する患者の権利の保護などについては、医学雑誌編集者国際委員会（International Committee of Medical Journal Editors（ICMJE））の提示する「Recommendations for the Conduct, Reporting, Editing, and Publication of Scholarly Work in Medical Journals」※1、および外科関連学会協議会加盟学会による「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」※2 に準じて投稿すること。

※1

<https://www.icmje.org/icmje-recommendations.pdf>

※2

https://jp.jssoc.or.jp/modules/aboutus/index.php?content_id=44

12. 利益相反（conflict of interest（COI））の開示

投稿にあたっては、当該論文が関わる COI 状態について、本学会の「医療情報学研究の利益相反（COI）に関する指針および細則」に基づき、所定の書式※により報告しなければならない。この利益相反報告書の内容は、論文末尾、謝辞または参考文献の前に記載する。規定された利益相反状態がない場

合は、「利益相反なし」「No potential conflicts of interest were disclosed.」などの文言を同部分に記載する。

※ 様式 2-A 「Medical Informatics Conflict of Interest Disclosure Statement」あるいは

様式 2-B 「医療情報学：自己申告による利益相反報告書」

所定の書式については、
<https://www.jami.jp/about/jami-coi/>
を参照。

13. 別刷

別刷は、20 部までは無料とする。20 部を超える分については、著者校正時に 50 部単位で申し込む。

14. 原稿送付

本文原稿 1 部、図・表・写真原稿 1 部と、原稿ファイルおよび原稿のテキスト形式ファイルを収録した CD-R 1 枚または USB メモリ 1 個を送付する。併せて、利益相反報告書を送付する。

原稿の到着日を投稿の受付日とする。原則として原稿は返却しない。

原稿の送付先

〒113-0033

東京都文京区本郷 2-17-17

井門本郷ビル 2 階

日本医療情報学会事務局 宛

TEL：03-3812-1702

FAX：03-3812-1703

E-mail：office@jami.jp